平成23年度 中級論文発表会 日程表

一人 25 分　（発表15分・質疑10分）

第1回 4月14日 (木)	9:50	～ 10:15	小野 拓美	CMCにおける自己情報と知識内容が好意感情に与える影響
	10:15	～ 10:40	梅原 千明	視覚探索で駆動される注意の特性 ～視覚探索課題とtracking課題の比較による検討～
	10:40	～ 11:05	菊地 彩	顔と名前の連合記憶におよぼすface-name mnemonicの練習効果の検討
	11:05	～ 11:30	深津 依里	大学生のサークル集団における組織市民行動に影響を及ぼす要因の検討
	11:30	～ 11:55	古野 穂波	社会的ジレンマ状況において氏名公開が非協力行動に及ぼす影響の検討
第2回 4月21日 (木)	10:20	～ 10:45	板野 沙姫	自然の情景認知における色補完の検討
	10:45	～ 11:10	高野 萌由	変化盲における、見落としたものに対する潜在的変化検出の有無の検討
	11:10	～ 11:35	伊木 佐織	情報の不一致および状況要因としての隔離が初期疑惑の発生にもたらす影響の検討
	11:35	～ 12:00	竹内 章悟	視覚的注意が周期的な視聴覚刺激の同期性判断に及ぼす影響の検討
第3回 4月28日 (木)	10:20	～ 10:45	佐藤 絢	emotional/unemotionalな嘘の検出と観察者の性別、判断時の手がかりとの関連性
	10:45	～ 11:10	新井 亮子	歩行条件と映像条件における空間情報学習の違い
	11:10	～ 11:35	釜田 理代	音楽の物理的要因が主観的なテンポと心理的時間に与える効果
	11:35	～ 12:00	山野 浩志	順応刺激のフリッカー提示が両眼ANDシステムの順応に及ぼす影響
第4回 5月12日 (木)	10:20	～ 10:45	野元 葵	日本人における指紋と推論課題との関係
	10:45	～ 11:10	池間 正剛	アタッチメントスタイルが自身にからかわれ経験における相手の意図推論に及ぼす影響 ～からかわれた内容の違いに着目して～
	11:10	～ 11:35	平山 雄基	関係形成過程に及ぼすシャイネスの影響 ～シャイネスの種類と関係形成の必要性に着目して～
	11:35	～ 12:00	野中 佑基	LMX関係理論とメンバーの自己観がリーダーシップの有効性に及ぼす影響の検討
第5回 5月19日 (木)	10:20	～ 10:45	小舘 フユミ	主観的持続に奥行き知覚が及ぼす影響に関する検討
	10:45	～ 11:10	小島 翔	顔の魅力度が顔分類課題に及ぼす影響の検討
	11:10	～ 11:35	川島 宏実	Empathizing-Systemizing理論におけるBタイプ内の個人差について
	11:35	～ 12:00	竹歳 亜美	行動志向性・状態志向性が認知的統制力に与える影響

一人当たりの発表時間は**質疑応答の時間(10分程度)を含めて25分**です。研究内容の**プレゼンテーションは約15分**に収めて下さい。
自分の発表日時に都合がつかない人は、代わってくれる人を自分で探して個人的に交渉し、発表順の交代が成立したら柳に知らせて下さい。
中級論文の説明だけでなく、上級・卒論に向けての展望なども発表してくれると、発表者にとっても非常に有益な質疑が期待できます。